



令和3年度 全国学力・学習状況調査

～登別市の調査結果～

令和3年度の登別市における調査結果の概要

○調査の概要

本調査は、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育施策の成果と課題の検証により改善を図るとともに、学校での児童生徒への学習指導の充実や改善等に役立てること、加えて教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、全国の小学6年生と中学3年生を対象に平成19年度から継続実施されてきた。

今年度は、国語と算数・数学の2教科に関する調査と、生活習慣や学習習慣等についての質問紙調査が行われ、登別市では、小学校306名、中学校332名が参加した。

また、出題形式は、新学習指導要領完全実施に伴い、平成31年度（令和元年度）より「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に問うように構成されており、記述式の問題も一定割合で導入されている。

なお、出題範囲が調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とされていることから、令和3年度に新学習指導要領完全実施となった中学校における評価の観点は、前学習指導要領の観点が用いられている。

○教科に関する調査

- 小学校では、国語で全道の平均正答率と同値で、全国と比べるとやや下回っているが同程度。算数で全道の平均正答率をやや下回っている程度で、全国と比べると下回っている。
- 中学校では、国語で全道及び全国の平均正答率をやや下回っているが同程度。数学で全道の平均正答率をやや下回っている程度で、全国と比べると下回っている。
- 無解答率については、小学校で、2教科とも全道及全国と比べて低い設問が多い。中学校で、2教科とも全道及全国と比べて低い設問もあるが、特に記述式の設問における無回答率の高さがうかがえる。
- 教科ごとの傾向は、次の通り。

【国語】

小学校では、文章の構成の工夫を考えると、文章全体の構成を捉えて内容を把握すること、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することなどに課題がある。（読むこと）

中学校では、文章に書かれている事柄について自分の考えをもつこと、相手に効果的に伝わるように書くこと、文章の構成の工夫を考えるとなどに課題がある。（書くこと、読むこと）

【算数・数学】

小学校では、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表すこと、複数のデータを比較し割合を記述すること、示された除法の結果を日常生活の場面に即して判断することなどに課題がある。（数と計算、測定、データの活用）

中学校では、数に関する事象を考察する場面において数学的な表現を用いて説明すること、条件を用いて四角形について考察することなどに課題がある。（数と計算、図形）

○児童・生徒質問紙調査

【自分について】

- 「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」と回答した小・中学生の割合が、全国と比べて高い。また、「人が困っているときは、進んで助ける」「学校に行くことが楽しい」と回答した小学生の割合が、全国と比べて高い。

【地域や人との関わりについて】

- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と回答した中学生の割合が、全国と比べて高い。「地域行事に参加している」と回答した小・中学生の割合が、全国と比べてやや低い。

【家庭生活・家庭学習について】

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝る」と回答した小・中学生の割合が、全国と比べて高い。「家で自分で計画を立てて勉強する」と回答した小学生の割合は全国と比べて高く、中学生の割合は、全国と比べてほぼ同等となっている。

【メディアについて】

- 「1日あたり、2時間以上テレビゲームをする」と回答した小中学生の割合は、全国と比べて高い。「スマホ等の使い方について、家の人との約束を守る」と回答した中学生の割合は、全国と比べて高い。

【学校での学習について】

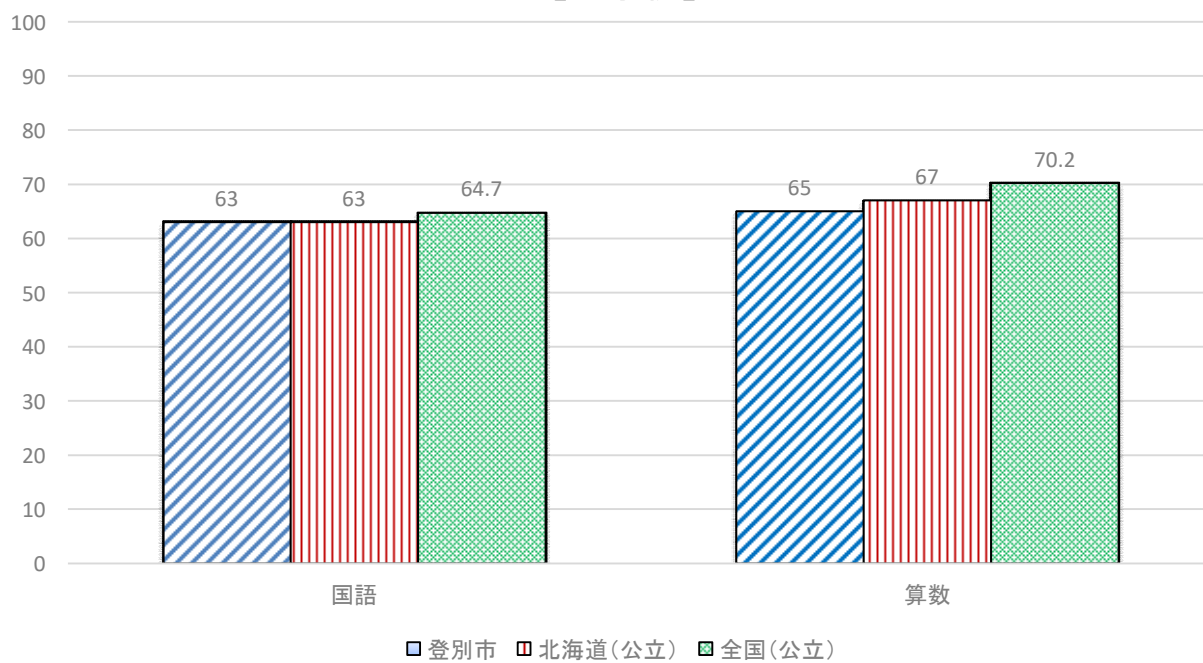
- 「授業では、課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んだ」「授業で自分の考えを発表する機会では、うまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」と回答した小・中学生の割合が、全国と比べて高い。

【コロナ感染症の影響について】

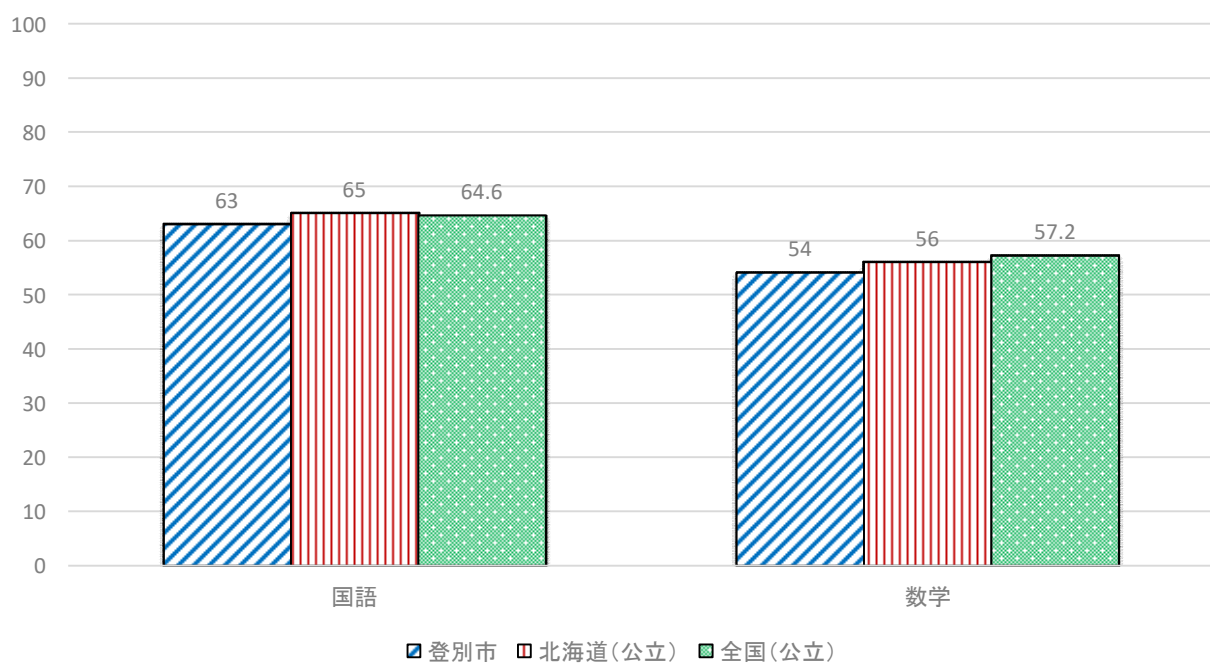
- 休校していた期間、「勉強について不安に感じた」「規則正しい生活を送った」と回答した小・中学生の割合が、全国と比べて高い。

令和3年度 全国学力・学習状況調査「登別市の状況」 ～全道・全国との比較～

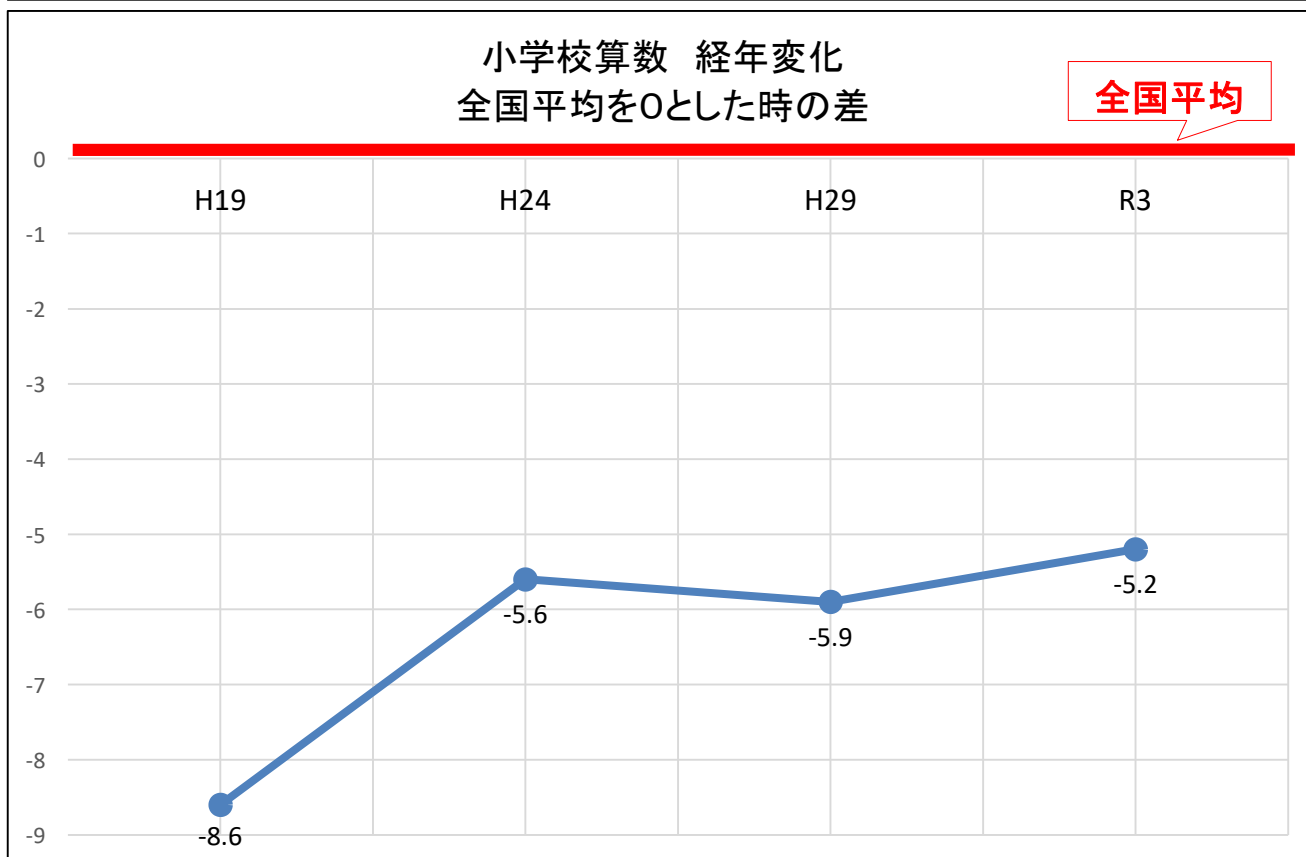
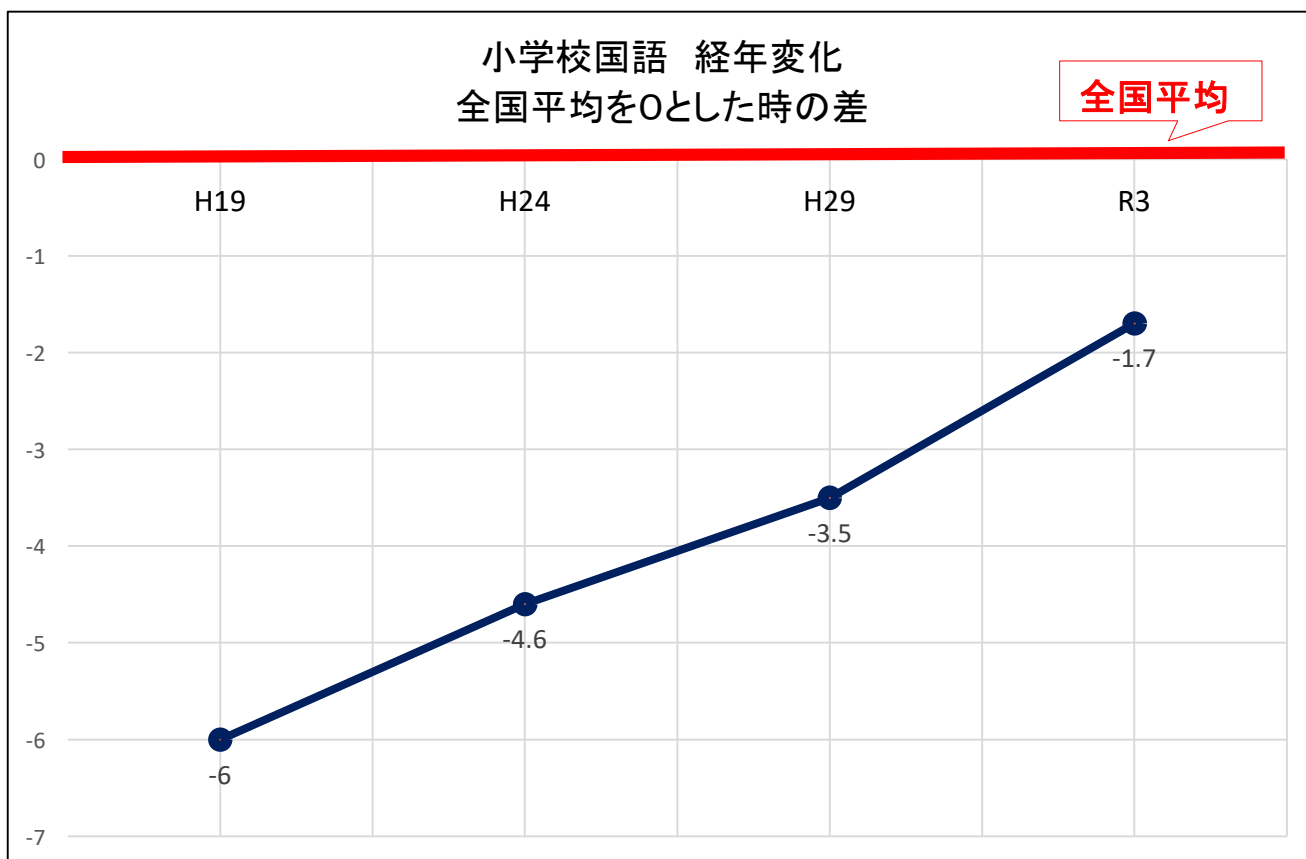
令和3年度 全国学力・学習状況調査結果
【小学校】



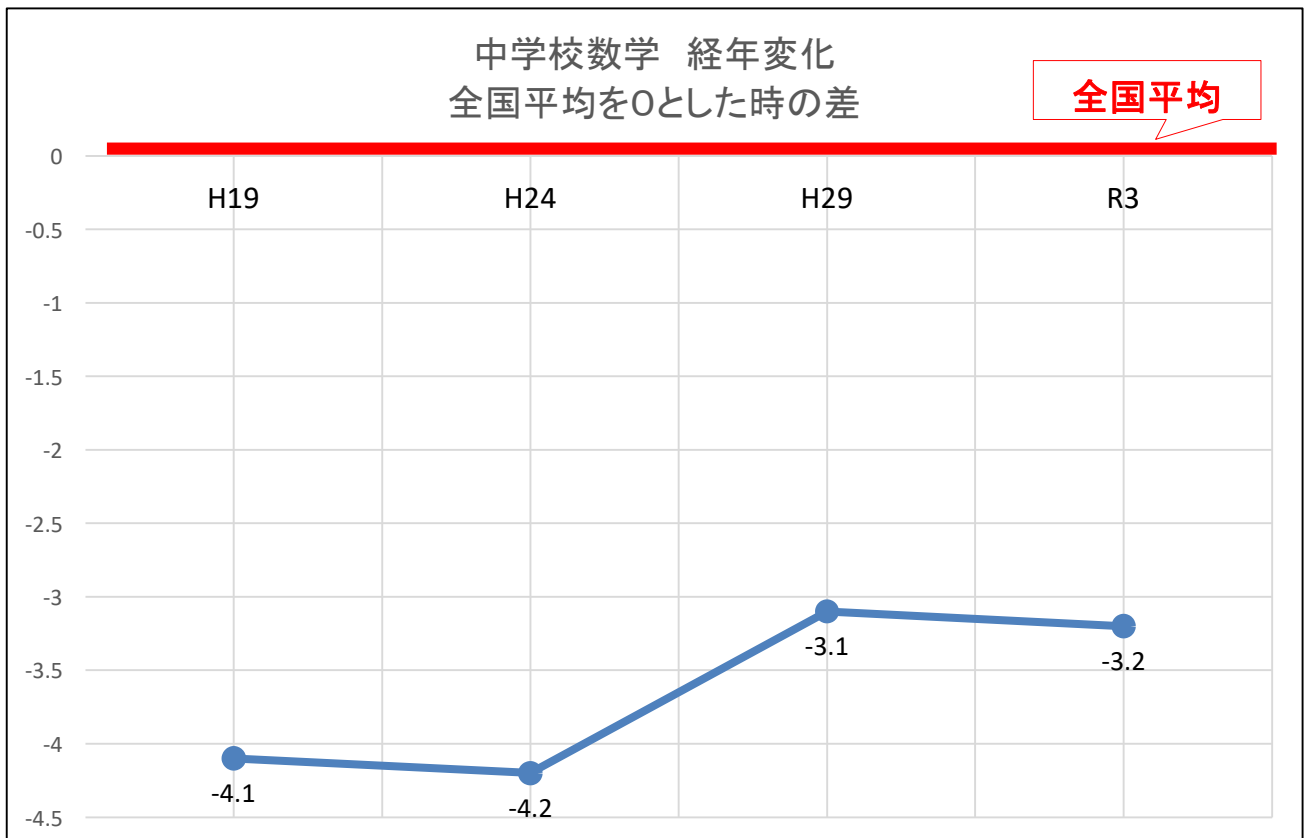
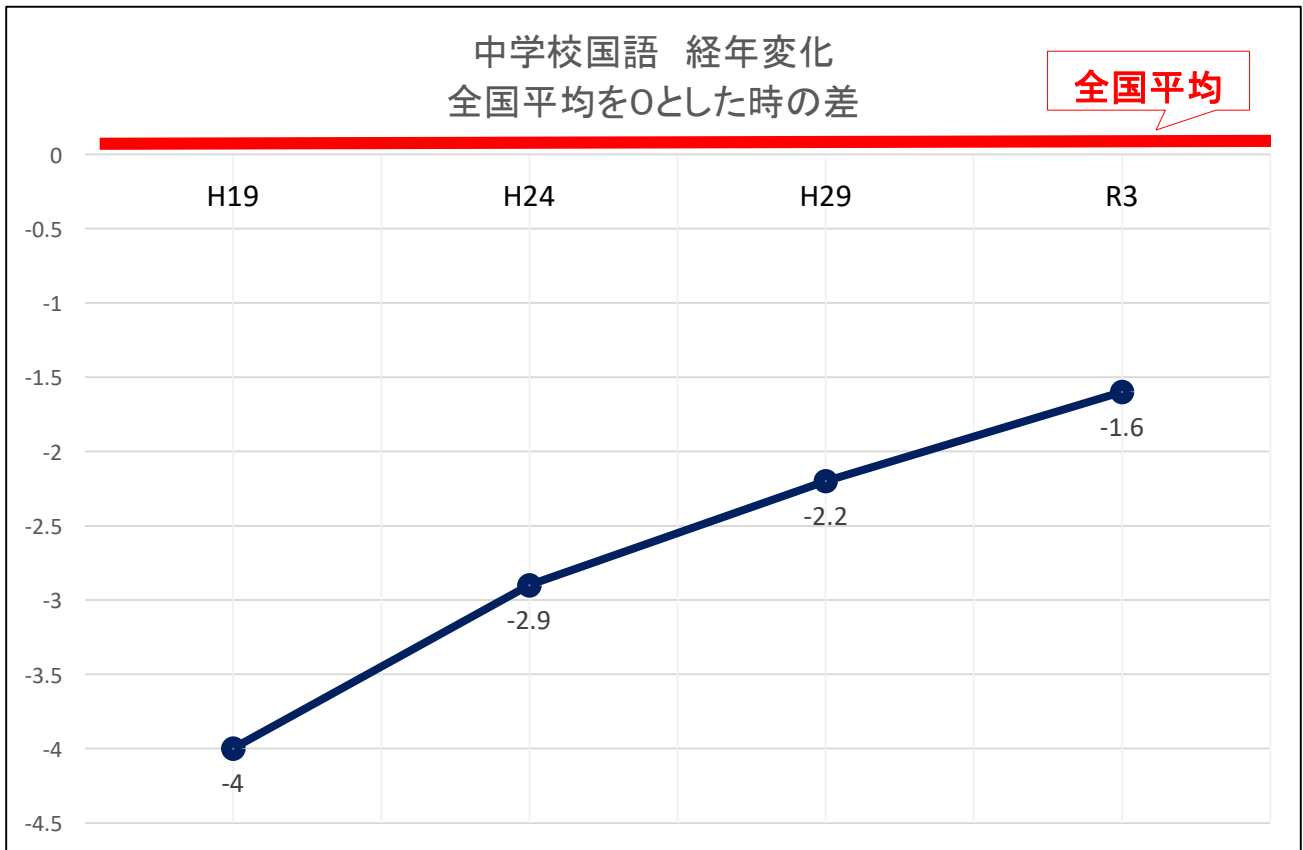
令和3年度 全国学力・学習状況調査結果
【中学校】



小学校 調査結果の経年変化 ～全国との比較～



中学校 調査結果の経年変化 ～全国との比較～



【知識・理解（言語の特徴や使い方に関する事項）】

自分の考えを主張する文章を書く

○大問3 設問三（1）ア

「みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままころがっているのを…」という文章の下線部を正しい漢字で書く問題

- ・正答率は80.7%（全国78.3%）、無回答率5.6%（全国8.8%）
- ・漢字を文の中で正しく使うことはできている。

●大問3 設問三（2）オ

「その他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう。」という文章の下線部が詳しくしている言葉を選択する問題

- ・正答率は43.5%（全国43.6%）、無回答率1.6%（全国4.1%）
- ・文章中における「修飾と被修飾との関係」を捉えることに課題があると考えられる。

◎質問紙調査から

「解答を文章で書く問題に対して、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した小学生の割合は84.3%で、平成31年度（令和元年度）と比べて、5.3ポイント高く、全国と比べて3.0ポイント高い。今後は、分かったことや考えたことをまとめる際に、内容の中心となる事柄や書き手の考えの中心となる事柄が文章全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えさせるために、単一の情報のみに基づくのではなく、目的に応じて文章と図表などの情報を関係付けて検討するなど、複数の情報を結び付けて考えを形成することが求められる。

◎授業改善のための方策

【話すこと・聞くこと】

○自分の考えが伝わるように資料を活用する指導

- ・直接的に相手とやりとりするインタビューでは、必要な情報を得るために「行う目的や聞き出す内容」を明確にできるよう意識できるようにする。また、目的や相手、状況などを踏まえ、話す内容と資料の整合、適切な時間や機会での資料の提示の仕方や量などにも注意する。

【書くこと】

○目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように詳しく書く指導

- ・読み手に考えがよく伝わるようにするために、目的や意図に応じて、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合などを判断しながら書き表し方を工夫できるようにする。また、異なる立場の考えを取り上げ、それに対する自分の考えを明確にできるようにする。

【読むこと】

○文章全体の構成を捉えて要旨を把握する指導

- ・「中心となる事柄」を把握するために、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのか、どのような感想や意見などをもっているのかなどに着目して、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えることができるようにする。また、文章全体の構成を捉えたり要旨を把握したりすることの必要性を感じられるように、活動の目的や価値を明確になるよう指導する。

【知識・理解（言語の特徴や使い方に関する事項）】

○修飾と被修飾との関係を理解する指導

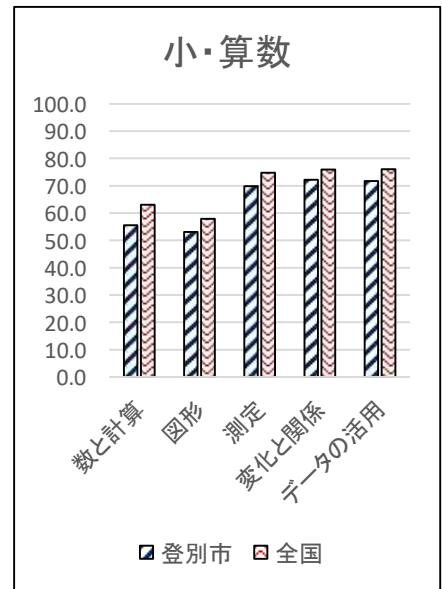
- ・修飾語には動きを表す語句を詳しくする場合と、ものや人などを詳しくする場合があることを理解できるようにする。そのために、修飾語を加えて文を詳しくしたり、修飾語がどの語句を詳しくしているのかをはっきりさせたりすることを指導する。

～小学校・算数における調査結果の概要～

【数と計算】

計算結果について数量の関係に着目した考察
(除法と小数を用いた倍)

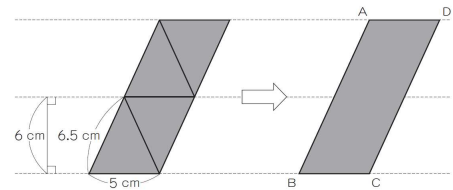
- 大問4 設問(2)
8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く問題
 - ・正答率45.4% (全国55.5%)
無回答率は0.7% (全国2.0%)
 - ・商が1より小さくなる等分除(整数) ÷ (整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表したり計算したりすることに課題があると考えられる。
- 大問4 設問(3)
30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く問題
 - ・正答率は47.4% (全国51.5%)
 - ・小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述することに課題があると考えられる。



【図形】

図形の構成の仕方に着目した図形の計量についての考察
(三角形や四角形の面積)

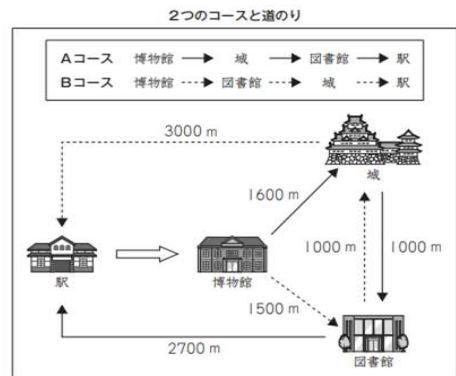
- 大問2 設問(3)
二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く問題
 - ・正答率37.9% (全国46.0%)
 - ・無回答率5.2% (全国4.6%)
 - ・複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述することに課題があると考えられる。



【測定】

日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること(地域めぐり)

- 大問1 設問(4)
午後1時35分から50分後の時刻を書く問題
 - ・正答率84.3% (全国89.2%)
無回答率0.3% (全国0.7%)
 - ・条件に合う時刻を求めることはできている。
- 大問1 設問(1)
二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く問題
 - ・正答率54.9% (全国62.5%)
無回答率2.3% (全国1.7%)
 - ・二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することを苦手としている。



【変化と関係】

日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること(地域めぐり)

- 大問1 設問(3)
二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ問題
 - ・正答率51.3% (全国55.8%)、無回答率0.7% (全国1.4%)

【データの活用】

統計的な問題解決の方法を用いた考察（図書アンケート）

○大問3 設問（1）

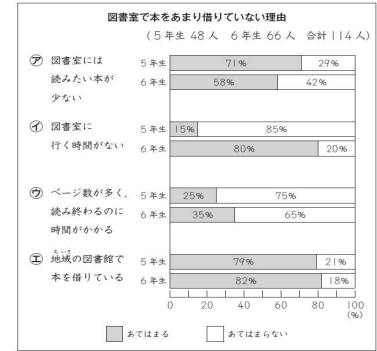
6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ問題

- ・正答率94.8%（全国95.1%）
- ・棒グラフから、数量を読み取ることができている。

●大問3 設問（4）

帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く問題

- ・正答率42.2%（全国52.0%）
- ・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することを苦手としている。



◎質問紙調査から

「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな解き方を考える」と回答した回答した小学生の割合は49.3%で、平成31年度（令和元年度）と比べて、2.5ポイント高く、全国と比べて0.1ポイント低い。各学校において、粘り強く課題に取り組む指導を工夫してきた成果がうかがえる。今後も、見通しをもち根拠を明らかにし筋道を立てて考える活動を充実させるとともに、自分の考えをわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し合ったりする学習活動を充実させる必要がある。

◎授業改善のための方策

【数と計算】

○数量の関係を捉え、正しく立式したり、計算結果を基に問題場面を振り返ったりする指導

- ・除法の場面において、何が被除数で、何が除数かを捉えて立式することができるようにする。また、具体物を操作したり絵や図に表したりしながら、「なぜその式になるといえるのか」について理由を説明できるようにする。

【図形】

○図形の構成の仕方を捉えて必要な長さを求め、図形の面積の公式を用いる指導

- ・面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにする。

【測定】

○日常生活の問題を解決するために、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表す指導

- ・道のりを求める式を立てた後に、必要な数値が全て含まれているかどうかを、具体的な場面に対応させて確認する。また、問題解決の過程を他者と数学的に表現し伝え合うなどして、計算の工夫に気付いたり、工夫して計算することのよさを実感したりできるようにする。

【変化と関係】

○速さについて、求めた商の大小で判断する指導

- ・速さについて、どちらが速いかを調べる場合には、時間と道のりのどちらを単位量にするかによって、求めた商が大きい方が速い場合と、小さい方が速い場合があり、商の意味を理解して判断できるようにする。

【データの活用】

○複数のデータから項目間の違いに着目し、データの特徴や傾向を読み取る指導

- ・帯グラフからデータの特徴や傾向を読み取るために、帯グラフのどの部分に着目したのかなどを説明できるようにする。また、集めたデータを分析する際は、データの種類や項目の数を考え、目的に応じて、表や各種グラフから適切なものを選択して表してみることで、データの特徴や傾向を捉えられるようにする。

～中学校・国語における調査結果の概要～

【話すこと・聞くこと】

話し合いをする（地域清掃活動）

○大問1 設問二

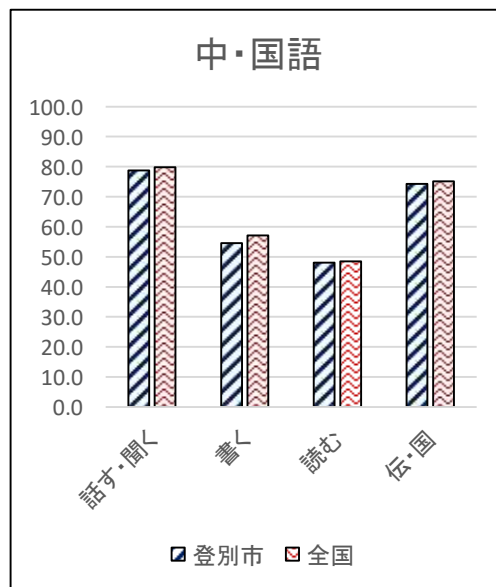
話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する問題

- ・正答率92.5%（全国92.5%）
無回答率0.0%（全国0.2%）
- ・質問の意図を捉えることができている。

●大問1 設問三

参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く問題

- ・正答率55.4%（全国57.1%）
- ・無回答率4.2%（全国3.4%）
- ・話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることに課題が見られる。



【書くこと】

意見文を書く（言葉の使い方）

●大問2 設問一

意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する問題

- ・正答率24.7%（全国24.8%）、無回答率0.3%（全国0.3%）
- ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことに課題が見られる。

【読むこと】

文学的な文章を読む（「吾輩は猫である」）

○大問3 設問三

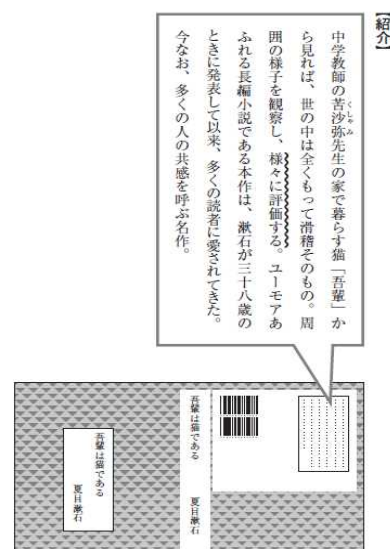
「反対の結果を露出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す問題

- ・正答率は72.0%（全国71.0%）、無回答率6.9%（全国7.3%）
- ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することは概ねできている。

●大問3 設問四

「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているのかや、そのような接し方をどう思うかを描く問題

- ・正答率は16.6%（全国20.5%）
- ・無回答率25.6%（全国24.1%）
- ・文章に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題が見られる。



【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

電子メールを書く（焼き物作りの体験）

○大問4 設問一①及び②

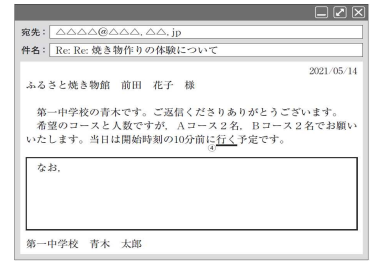
漢字を読む（①伸ばして、②詳細）

- ・正答率は、①95.5%（全国97.5%）、②91.0%（全国88.8%）
無回答率は、①1.8%（全国1.5%）、②1.8%（全国2.3%）
- ・文脈に即して漢字を読むことができている。

●大問4 設問三

「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する問題

- ・正答率38.0%（全国40.3%）、無回答率2.7%（全国1.7%）
- ・相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題が見られる。



◎質問紙調査から

「国語の授業で、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている」と肯定的な回答をした中学生の割合は85.9%で、全国と比べて4.1ポイント高い。今後は、この強みを生かすとともに、「表記や語句の用法」「叙述の仕方」「表現の効果」等を意識しながら自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える力を身に付ける指導を充実させる必要がある。

◎授業改善のための方策

【話すこと・聞くこと】

○話題や展開を捉えながら話し合う指導

- ・何についてどのような目的で話し合っているかといった、目指している到達点を常に意識するようにする。その際、多くの発言によって考えを広げていく段階や、出された発言の内容を整理しながら考えをまとめる段階など、話し合いにおけるいずれの段階においても、話題を意識しながらその経過を捉えて話したり聞いたりするようにする。

【書くこと】

○読み手の立場に立って文章を整える

- ・目的や意図に応じて、読みやすく分かりやすい文章にするために、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などを確かめるようにする。また、自分が書いた文章を説明や具体例、描写などに着目して見直し、これらの表現が、自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかなどについて検討し、その上で誤解のない表現やより効果的な表現にしていけるようにする。

【読むこと】

○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする

- ・自分の考えをもつために、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするようにする。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにするようにする。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う

- ・公的な場面で改まった言葉遣いをすることのほか、会話をしたり手紙を書いたりする際に相手に応じた語句を選んで用いることなどにも留意するように指導する。また、自分の発信した情報がどう受け止められるかを想像したり、相手の状況や媒体の特性などを考慮したりして書くように指導する。

～中学校・数学における調査結果の概要～

【数と計算】

構想を立てて説明し、発展的に考察すること（4つの数の和）

○大問6 設問(1)

四角で囲んだ4つの数が、12、13、17、18のとき、それらの和が4の倍数になるか どうかを確かめる式を書く問題

- ・正答率80.7%（全国83.9%）、無回答率3.6%（全国3.5%）
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができている。

●大問6 設問(3)

四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する問題

- ・正答率25.6%（全国30.3%）、無回答率33.4%（全国29.9%）
- ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することに課題があると考えられる。

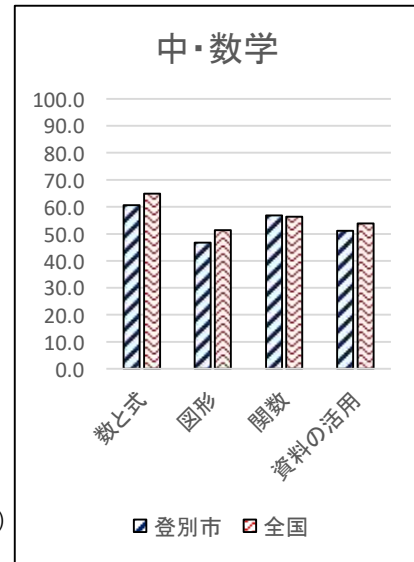
図3

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

真菜さんの計算

$$\begin{aligned} & n + (n + 1) + (n + 6) + (n + 7) \\ &= n + n + 1 + n + 6 + n + 7 \\ &= 4n + 14 \\ &= 2(2n + 7) \end{aligned}$$

n	$n + 1$
$n + 6$	$n + 7$



【図形】

空間図形

○大問3

中心角 60° の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ問題

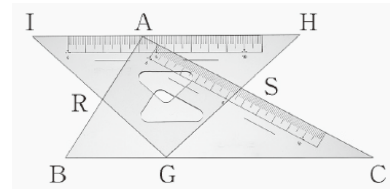
- ・正答率69.0%（全国68.1%）、無回答率0.3%（全国0.3%）
- ・扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について概ね理解している。

平行線や角の性質を基に、図形を考察すること（三角定規）

●大問9 設問(3)

$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く問題

- ・正答率27.4%（全国28.8%）、無回答率33.4%（全国28.7%）
- ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することに課題があると考えられる。



【関数】

日常的な事象の数学化と問題解決の方法（砂時計）

○大問7 設問(1)

与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める問題

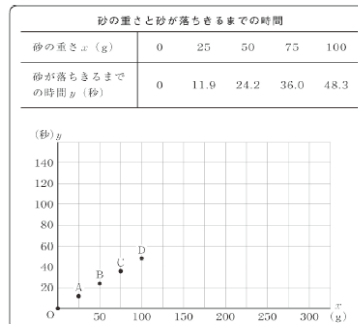
- ・正答率94.9%（全国93.5%）、無回答率2.4%（全国2.0%）
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができている。

●大問7 設問(2)

与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する問題

- ・正答率28.0%（全国27.7%）
- ・無回答率25.3%（全国24.7%）
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があると考えられる。

調べた結果



【資料の活用】

データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること（キャンプ場の気温）

○大問8 設問（1）

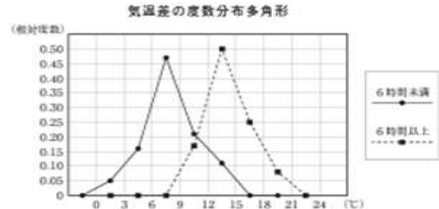
気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く問題

- ・正答率78.9%（全国83.0%）、無回答率5.1%（全国4.1%）
- ・ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることは概ねできている。

●大問8 設問（3）

「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する問題

- ・正答率8.7%（全国11.1%）
- ・無回答率38.6%（全国32.2%）
- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することを苦手としている。



◎質問紙調査から

「解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな解き方を考える」と回答した中学生の割合は43.7%で、平成31年度（令和元年度）と比べて、17.1ポイント高く、全国と比べて5.4ポイント高い。また、「解答を言葉や数、式を使って説明する問題に対して、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した中学生の割合は53.3%で、平成31年度（令和元年度）と比べて、1.3ポイント高く、全国と比べて4.5ポイント低い。無回答率の高さは顕在するものの、少しずつ差が縮まってきていることから、今後も問題解決の学習過程において、生徒が自ら考えをまとめ、表現すること、また、それを他と比較・検討する場面を設定し、振り返りを促すような指導を継続する。

◎授業改善のための方策

【数と計算】

◇事柄の特徴を捉え、それを数学的に説明できるようにする

- ・数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるようにする。その際、数に関する事象を考察する場面において、見いだした事実を読み取りながら説明に生かせるようにする。

【図形】

◇ある条件の下で成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現できるようにする

- ・成り立つ性質や関係を捉えて数学的に表現できるようにするため、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を充実させる。その際、見いだした性質を共有した上で、さらにいえることはないか考えたり、見いだした性質を関連付けて考えたりする活動を取り入れるようにする。

【関数】

◇実験で得られたデータを理想化したり単純化したりして、その特徴を的確に捉えることができるようにする

- ・日常的な事象における伴って変わる二つの数量の関係を捉えさせるため、実験などの活動から得られたデータを、表やグラフに表現する活動を充実させる。その際、データを座標平面や表に表し、表されたグラフや表のもつ性質を利用してその関係を見いだす活動を取り入れるようにする。

【資料の活用】

○判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにする

- ・データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるようにする。そのために、作った二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目して、二つの度数分布多角形における分布の特徴について話し合いながら、見いだした分布の特徴から結論をいうためにふさわしい根拠となるものを取り上げ、判断したこととその理由について説明する活動を取り入れるようにする。

小学校国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 国との比較	無解答率 国との比較
			市	道	国	市	道	国		
1一	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える	80.4	75.1	77.5	0.0	0.2	0.3	2.9	-0.3
1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、【資料②】と【資料③】を使った理由の説明として適切なものを選択する	資料を用いた目的を理解する	73.2	73.1	74.9	0.0	0.3	0.4	-1.7	-0.4
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の【資料②】の部分で話す内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、資料を使って話す	78.4	78.1	81.0	0.0	0.3	0.4	-2.6	-0.4
2一	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する	71.2	76.1	77.6	0.0	0.3	0.4	-6.4	-0.4
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う	85.3	86.4	87.5	0.0	0.2	0.3	-2.2	-0.3
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける	26.5	32.0	34.4	2.6	4.4	4.1	-7.9	-1.5
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	22.2	27.4	29.7	3.3	5.8	5.5	-7.5	-2.2
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える	64.4	65.3	64.8	1.3	1.7	2.1	-0.4	-0.8
3二	丸山さんの【文章の下書き】の【資料②】部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す	目的や意図に応じて、理由を明確にしながらか、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する	58.2	55.6	56.6	7.5	9.9	9.6	1.6	-2.1
3三 (1) ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の【資料②】部アを、漢字を使って書き直す (ころがっている)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	80.7	79.6	78.3	5.6	8.3	8.8	2.4	-3.2
3三 (1) ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の【資料②】部ウを、漢字を使って書き直す (つみ重ね)		58.8	55.3	54.4	7.8	13.6	14.4	4.4	-6.6
3三 (1) エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の【資料②】部エを、漢字を使って書き直す (げんいん)		77.5	77.0	79.0	3.6	6.1	6.6	-1.5	-3.0
3三 (2) イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の【資料②】部イで、【資料②】部「残されています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉える	67.6	63.9	67.0	1.6	2.9	3.8	0.6	-2.2
3三 (2) オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の【資料②】部オで、【資料②】部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	43.5	40.6	43.6	1.6	3.1	4.1	-0.1	-2.5

小学校算数

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 国との比較	無回答率 国との比較
			市	道	国	市	道	国		
1 (1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	54.9	57.8	62.5	2.3	2.0	1.7	-7.6	0.6
1 (2)	500mを歩くのに7分かかるとを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる	81.7	85.8	86.7	1.3	2.0	1.7	-5.0	-0.4
1 (3)	㊦と㊧の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味を理解している	51.3	51.1	55.8	0.7	1.5	1.4	-4.5	-0.7
1 (4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる	84.3	87.9	89.2	0.3	0.7	0.7	-4.9	-0.4
1 (5)	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる	83.7	80.6	85.1	0.3	1.9	1.5	-1.4	-1.2
2 (1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している	51.0	46.8	55.1	1.6	1.9	1.6	-4.1	0.0
2 (2)	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる	70.3	71.6	72.5	0.3	1.1	1.0	-2.2	-0.7
2 (3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる	37.9	43.6	46.0	5.2	5.4	4.6	-8.1	0.6
3 (1)	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、数量を読み取ることができる	94.8	95.1	95.8	0.0	0.4	0.4	-1.0	-0.4
3 (2)	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる	88.6	89.2	90.7	0.0	0.4	0.4	-2.1	-0.4
3 (3)	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	データを二次元の表に分類整理することができる	61.1	67.7	67.5	0.7	1.7	1.7	-6.4	-1.0
3 (4)	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる	42.2	49.8	52.0	10.8	11.8	10.3	-9.8	0.5
3 (5)	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる	71.9	73.0	73.9	0.7	1.5	1.3	-2.0	-0.6
4 (1)	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる	74.5	81.1	83.0	0.7	2.0	1.7	-8.5	-1.0
4 (2)	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる	45.4	51.9	55.5	0.7	2.4	2.0	-10.1	-1.3
4 (3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる	47.4	46.7	51.5	11.1	12.4	10.3	-4.1	0.8

中学校国語

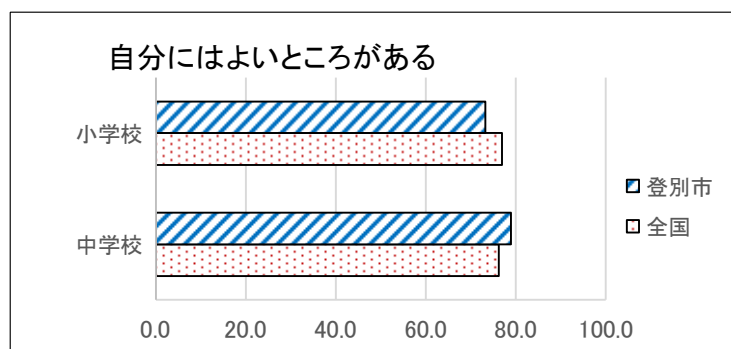
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 国との比較	無回答率 国との比較
			市	道	国	市	道	国		
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	88.3	90.2	89.7	0.0	0.1	0.2	-1.4	-0.2
1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	92.5	92.3	92.5	0.0	0.1	0.2	0.0	-0.2
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える	55.4	56.6	57.1	4.2	3.3	3.4	-1.7	0.8
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	24.7	24.5	24.8	0.3	0.2	0.3	-0.1	0.0
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える	70.5	73.7	74.5	12.3	9.3	8.5	-4.0	3.8
3一	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	45.8	43.2	43.7	0.6	0.3	0.4	2.1	0.2
3二	「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する	場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する	57.5	59.5	58.7	0.3	0.3	0.4	-1.2	-0.1
3三	「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	72.0	71.5	71.0	6.9	7.2	7.3	1.0	-0.4
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ	16.6	18.4	20.5	25.6	24.8	24.1	-3.9	1.5
4一①	漢字を読む(拙ばして)	文脈に即して漢字を正しく読む	95.5	97.7	97.5	1.8	1.1	1.5	-2.0	0.3
4一②	漢字を読む(詳細)		91.0	90.1	88.8	1.8	1.8	2.3	2.2	-0.5
4二	「随時」の意味として適切なものを選択する	事象や行為などを表す多様な語句について理解する	72.9	73.6	74.0	0.9	0.7	1.1	-1.1	-0.2
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	相手や場に応じて敬語を適切に使う	38.0	39.4	40.3	2.7	1.7	1.7	-2.3	1.0
4四	事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く	68.4	72.5	71.9	11.1	10.3	9.7	-3.5	1.4

中学校数学

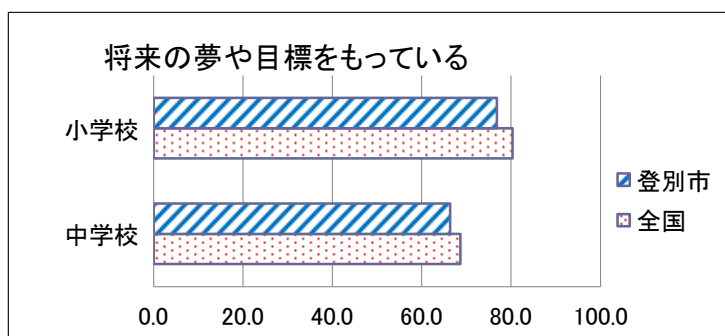
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 国との比較	無解答率 国との比較
			市	道	国	市	道	国		
1	$(5x + 6y) - (3x - 2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	78.0	72.2	77.1	0.9	0.9	0.8	0.9	0.1
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる	68.4	68.6	71.3	8.4	8.6	7.6	-2.9	0.8
3	中心角 60° の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している	69.0	69.0	68.1	0.3	0.3	0.3	0.9	0.0
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	47.6	46.1	48.0	11.4	10.3	9.3	-0.4	2.1
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることができる	82.8	84.6	84.5	0.6	1.0	1.0	-1.7	-0.4
6 (1)	四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	80.7	83.3	83.9	3.6	3.8	3.5	-3.2	0.1
6 (2)	四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	50.3	58.4	61.8	21.4	17.9	15.4	-11.5	6.0
6 (3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	25.6	30.1	30.3	33.4	31.2	29.9	-4.7	3.5
7 (1)	与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	94.9	93.3	93.5	2.4	2.3	2.0	1.4	0.4
7 (2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	28.0	27.3	27.7	25.3	24.9	24.7	0.3	0.6
8 (1)	気温差が 9°C 以上 12°C 未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる	78.9	80.8	83.0	5.1	5.3	4.2	-4.1	0.9
8 (2)	2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している	33.7	34.9	36.8	1.8	1.0	1.0	-3.1	0.8
8 (3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	8.7	8.9	11.1	38.6	35.8	32.2	-2.4	6.4
9 (1)	四角形 $ABCE$ が平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明することができる	31.3	42.7	44.3	3.9	4.7	3.6	-13.0	0.3
9 (2)	錯角が等しくなることについて、根拠となる直線 FE と直線 BC の関係を、記号を用いて表す	錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している	59.6	65.1	64.3	18.4	15.6	14.2	-4.7	4.2
9 (3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる	27.4	28.6	28.8	33.4	30.8	28.7	-1.4	4.7

児童・生徒質問紙調査より①

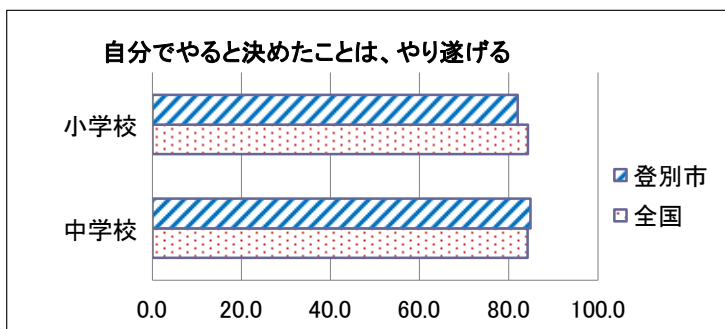
□自分について①



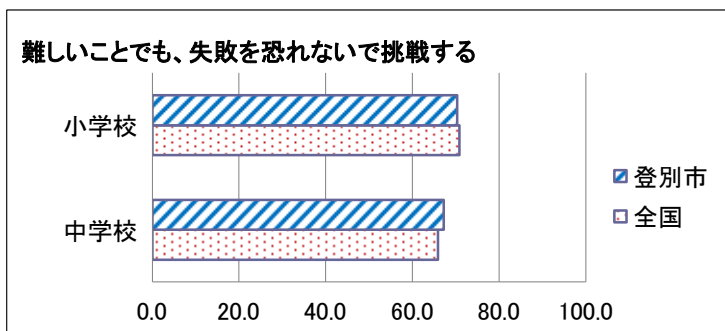
肯定的な回答をした小学生は73.2%で、中学生は73.2%。全国と比べて、小学校で3.7ポイント低く、中学生は2.7ポイント高い。小学校段階における自己肯定感の醸成が求められる。



肯定的な回答をした小学生は76.8%、中学生は66.3%。全国と比べて、小学生で3.5ポイント低く、中学生で2.3ポイント低い。キャリア教育のさらなる充実が求められる。



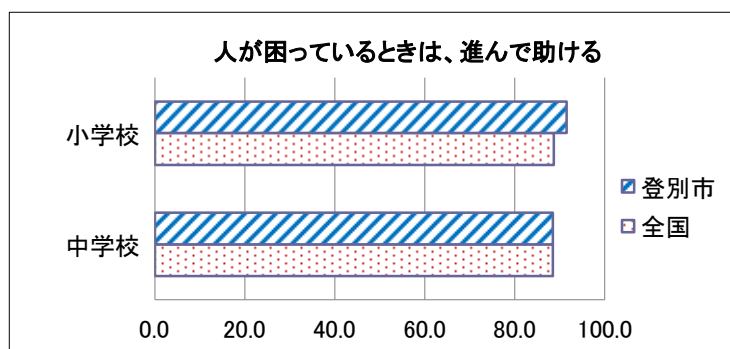
肯定的な回答をした小学生は82.0%、中学生は84.9%。全国と比べて、小学生で2.3ポイント低く、中学生で0.7ポイント高い。



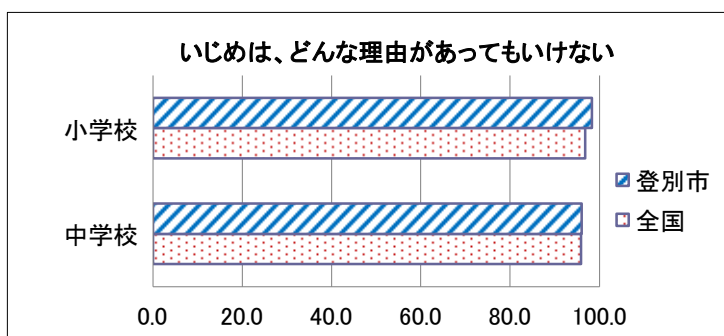
肯定的な回答をした小学生は70.3%、中学生は67.2%。全国と比べて、小学生は0.6ポイント低く、中学生は1.3ポイント高い。スモールステップで挑戦させるとともに、適宜評価や振り返りを行いながら自己肯定感を醸成し、苦手とすることにも向き合える姿勢を育てていく必要がある。

児童・生徒質問紙調査より②

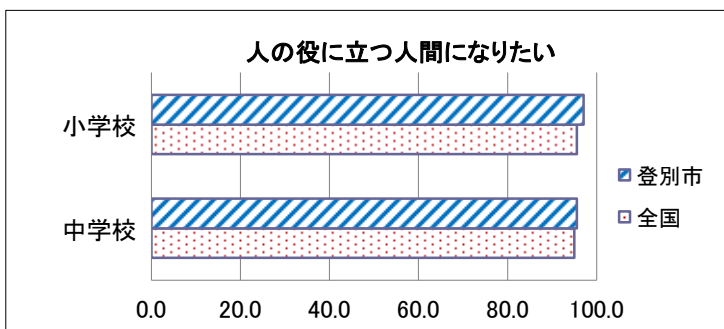
□自分について②



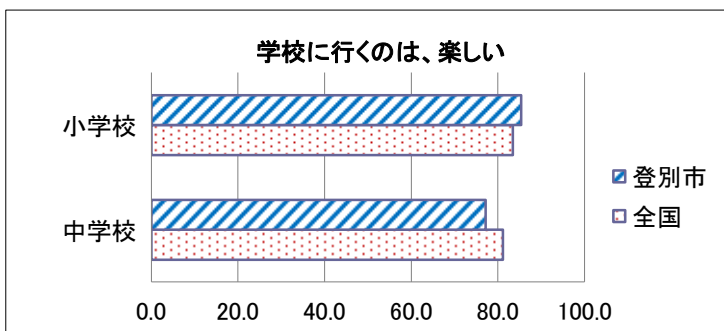
肯定的な回答をした小学生は91.5%、中学生は88.5%。全国と比べて、小学生は2.8ポイント高い。



肯定的な回答をした小学生は98.3%、中学生は96.0%。全国と比べて、小学生は1.5ポイント高く、中学生は0.1ポイント高い。



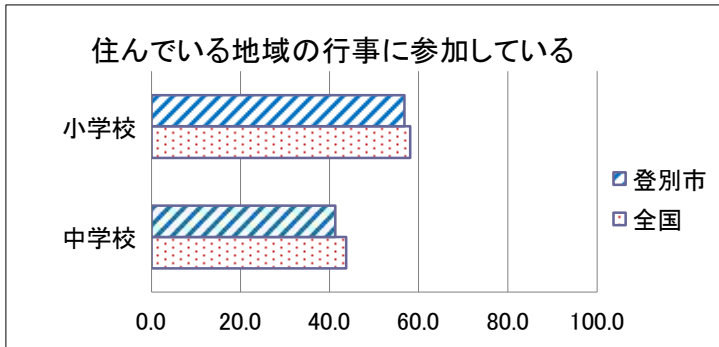
肯定的な回答をした小学生は97.1%、中学生は95.5%。全国と比べて、小学生は1.6ポイント、中学生は0.5ポイント高い。



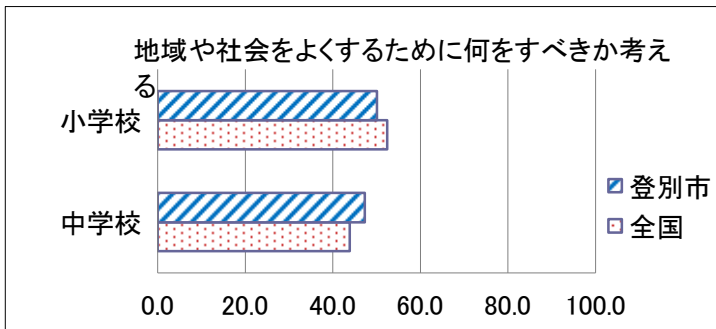
肯定的な回答をした小学生は85.3%、中学生は77.1%。全国と比べて、小学生は1.9ポイント高く、中学生は4.0ポイント低い。児童生徒の悩みや困り感を明らかにするとともに、分かりやすい授業を展開する必要がある。

児童・生徒質問紙調査より③

□地域・人との関わりについて



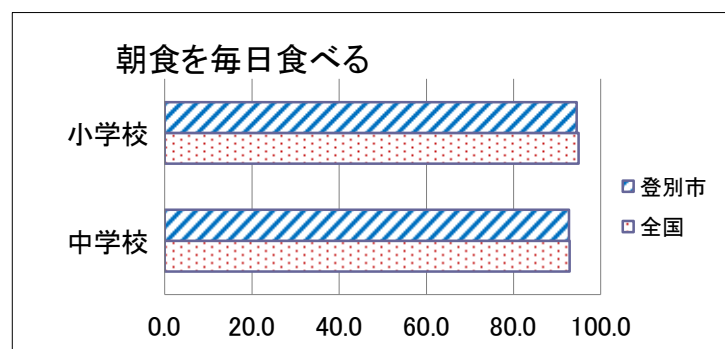
肯定的な回答をした小学生は56.8%、中学生は41.3%。全国と比べて、小学生は1.3ポイント低く、中学生は2.4ポイント低い。



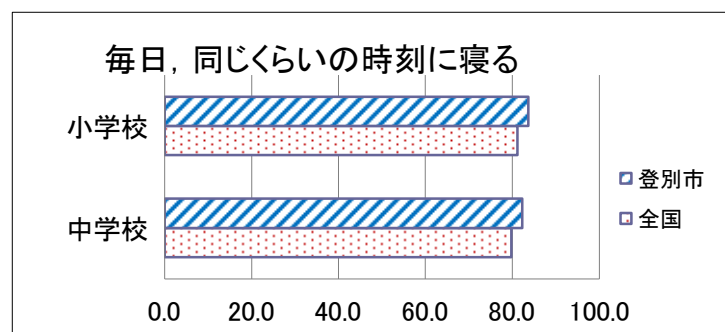
肯定的な回答をした小学生は50.0%、中学生は47.3%。全国と比べて、小学生は2.4ポイント低く、中学生は3.5ポイント高い。地域を担う人材の育成という観点から、地域・社会の理解を促す取組や教育活動の一層の推進が求められる。「地域や社会の一員である」という意識を高めるようにする。

児童・生徒質問紙調査より④

□家庭生活・家庭学習について

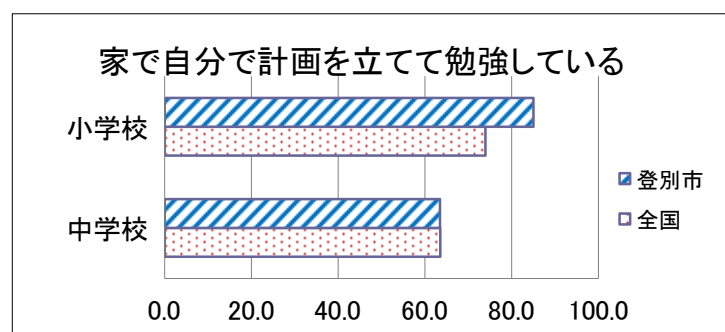


肯定的な回答をした小学生は94.5%、中学生は92.7%。全国と比べて、小学生は0.4ポイント低く、中学生は0.1ポイント低い。

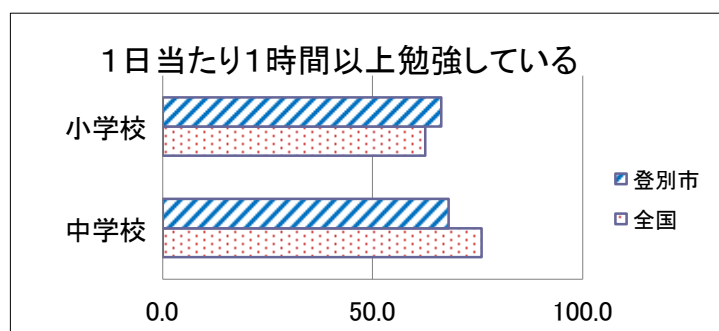


肯定的な回答をした小学生は83.7%、中学生は82.3%。全国と比べて、小学生、中学生ともに2.5ポイント高い。

また、「毎日同じ時刻に起きる」と回答した小学生は89.9%、中学生は93.1%。全国と比べて、小学生は0.5ポイント低く、中学生は0.4ポイント高い。



肯定的な回答をした小学生は85.0%、中学生は63.5%。全国と比べて、小学生は11.0ポイント高く、中学生は0.1ポイント高い。

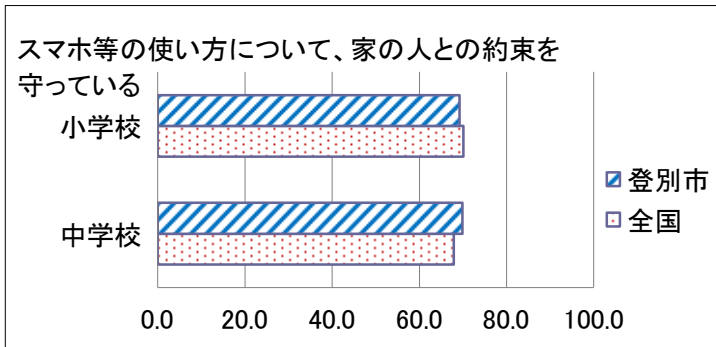


1時間以上学習していると回答をした小学生は66.3%、中学生は68.1%。全国と比べて、小学生は3.8ポイント高く、中学生は7.8ポイント低い。

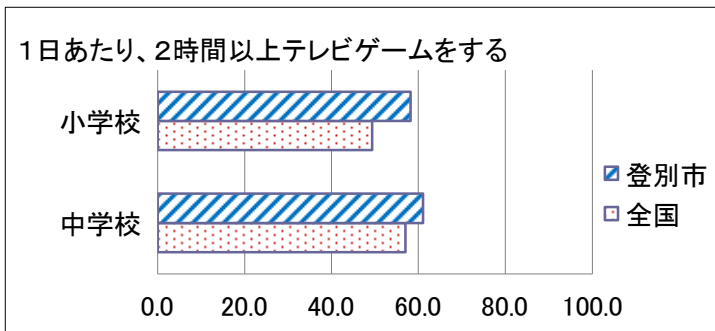
家庭学習の「目的」「内容」「在り方」「取り組み方」等を見直しながら、主体的に学ぶ姿勢を育むことが求められる。

児童・生徒質問紙調査より⑤

□メディア



肯定的な回答をした小学生は69.2%、中学生は69.9%。全国と比べて、小学生は0.9ポイント低く、中学生は2.0ポイント高い。

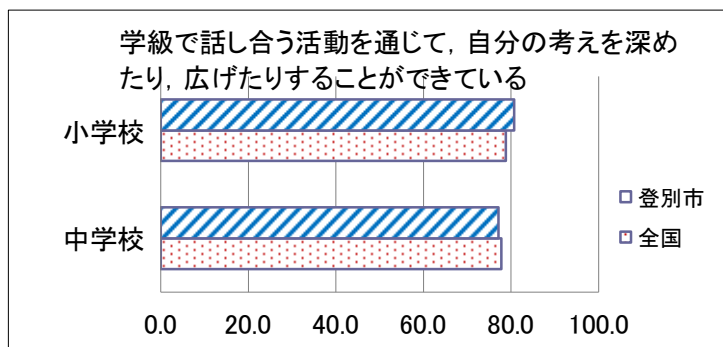


2時間以上テレビゲームをすると回答した小学生は、58.2%、中学生は61.1%。全国と比べて、小学生8.8ポイント高く、中学生は4.1ポイント高い。

テレビゲームに限らず、児童生徒のメディアに接する時間が、学習時間や生活リズムに影響を及ぼしている。

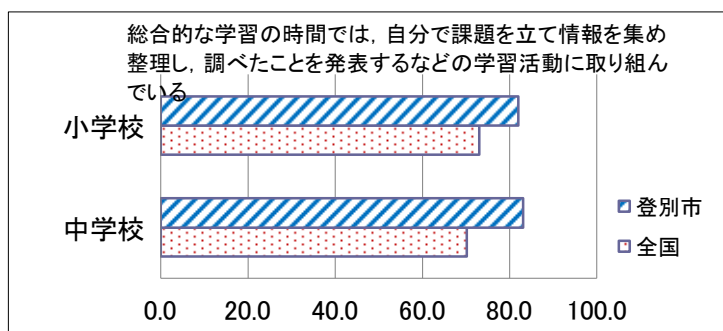
児童・生徒質問紙調査より⑥

□学校での学習について



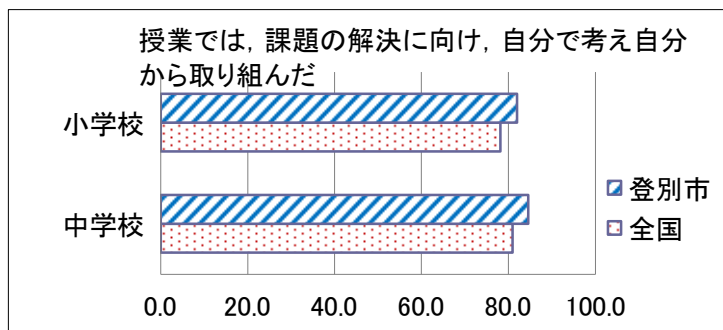
肯定的な回答をした小学生は80.7%、中学生は77.1%。全国と比べて、小学生で1.9ポイント高く、中学生で0.7ポイント低い。

今後も、学習等において、様々な学習形態において発表の場を設定しながら、児童生徒一人一人の表現力を向上させていく必要がある。

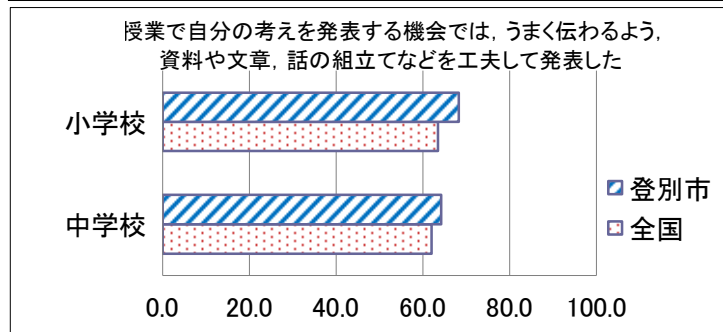


肯定的な回答をした小学生は82.0%、中学生は83.1%。全国と比べて、小学生は9.0ポイント、中学生で12.9ポイントと大きく上回っている。

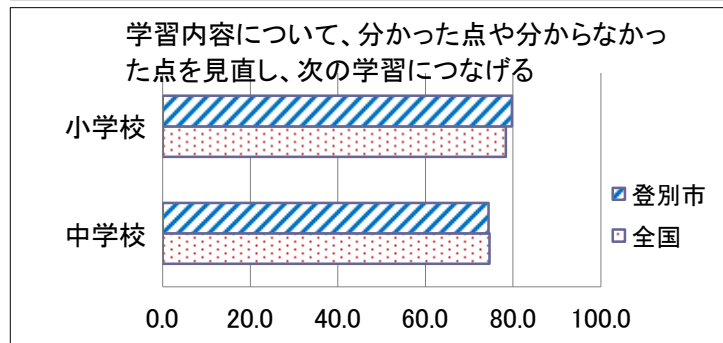
主体的・対話的で深い学びが展開しやすい総合的な学習の時間において、各学級では効果的な学習過程が設定されていることがうかがえる。



肯定的な回答をした小学生は82.0%、中学生は84.6%。全国と比べて、小学生は3.8ポイント、中学生は3.6ポイント高い。



肯定的な回答をした小学生は68.3%、中学生は64.2%。全国と比べて、小学生は4.8ポイント高く、中学生は2.2ポイント高い。

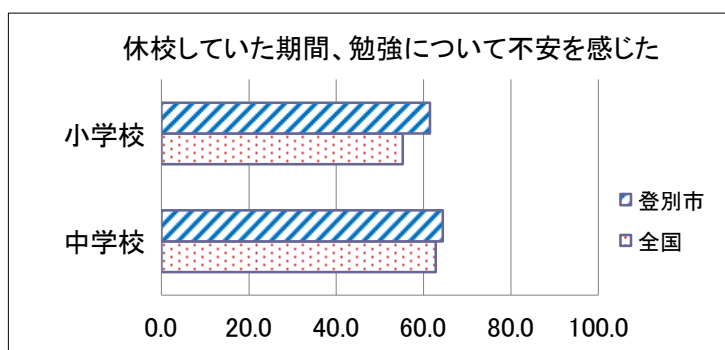


肯定的な回答をした小学生は79.7ポイント、中学生は74.4ポイント。全国と比べると、小学生は1.4ポイント高く、中学生は0.2ポイント低い。

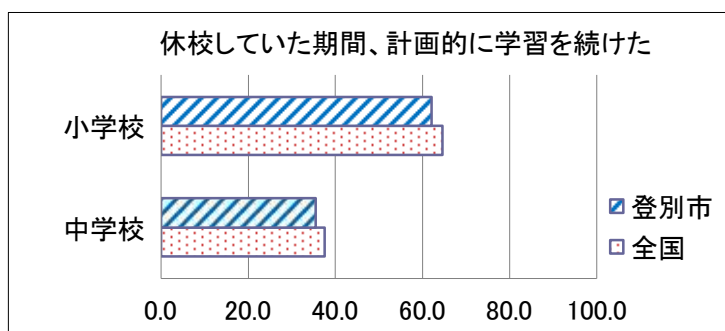
授業におけるまとめや振り返りを充実させながら、次の課題につながることを求められている。

児童・生徒質問紙調査より⑦

□コロナ感染症の影響について

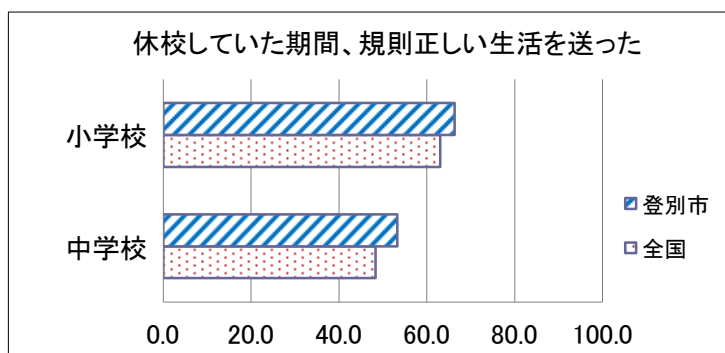


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学生は61.4%、中学生は64.4%。全国と比べて、小学生は6.2ポイント、中学生は1.6ポイント高い。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学生は62.1%、中学生は35.5%。全国と比べて、小学生は2.5ポイント低く、中学生は2.1ポイント低い。

計画的に学習できなかった理由を分析し次に生かす必要がある。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学生は66.3%、中学生は53.3%。全国と比べて、小学生は3.2ポイント高く、中学生は4.9ポイント高い。